

まちのわだい

「朝日を浴びて」

～しゃくなげまつりフォトコンテスト～

恒例となっている「しゃくなげまつりフォトコンテスト」の入賞作品が決定しました。

応募総数127点の中から推薦に選ばれたのは、伊予市 福本満さんの「朝日を浴びて」です。おめでとうございます。

なお、応募のありました全作品を道の駅清流の里ひじかわ交流室に8月中旬ごろまで展示しています。しゃくなげや、桜、鹿野川ダムなど肱川町の春をもう一度楽しむことができる空間となっていますので、ぜひお立ち寄りください。



▲「朝日を浴びて」



▲機敏な動作をみせる消防団員

5 / 25
(日)

素早く正確に

～第26回愛媛県消防操法大洲喜多地区大会～

五郎大橋上流の河川敷グラウンドで、愛媛県消防操法大洲喜多地区大会が開かれました。小型ポンプ操法の部には11団体、ポンプ車操法の部には5団体が出場し、正確さと速さを競いました。

ポンプ車操法の部では、大洲市消防団大洲方面隊肱北分団第1部が1位。小型ポンプ操法の部では大洲市消防団肱川方面隊正山分団が1位、大洲市消防団河辺方面隊北平分団が3位にはいり、肱北分団と正山分団は代表として、7月に開催予定の県大会に出場します。



▲上手に色を塗る園児たち

5 / 28
(水)

うかいのPRに一役

～ウのモニュメントを設置～

うかいの開幕を前に、JR伊予大洲駅の構内にウのモニュメントが設置されました。このモニュメントは、JR四国が大洲観光に一役かおうと、2年前から設置したのが始まりで、今回はそのうち2羽のウと、水面の澄んだ水色部分への着色作業を行いました。この日は、手作りの烏帽子(えぼし)と腰みので鶴匠に扮した喜多保育所の園児14人が、手伝ってくれました。本物のウ2羽といっしょに応援に駆けつけた鶴匠の佐々木コズエさんは、「本物みたいに上手に塗ってくれました。みんなもうかいを応援してくださいね」とあいさつ。完成されたこのモニュメントは、9月20日のうかい最終日まで、同駅1番ホームに展示されます。

みんなもうかいを応援してくださいね」とあいさつ。完成されたこのモニュメントは、9月20日のうかい最終日まで、同駅1番ホームに展示されます。



▲お菓子やお餅を拾う多くの来場者

5 / 31
(土)

幻想的な光の舞い

～第10回 地蔵堂ほたるまつり～

平野地蔵堂地区のほたるまつりが行われ、会場となった地蔵堂集会所付近は、多くの来場者でにぎわいました。このお祭りは、沼田川に多くのホタルが毎年乱舞していたことから、ホタル祭りを開催して地蔵堂地区を元気にしようと平成11年から始められたものです。ほたる祭実行委員会の清水繁幸代表は、「昨晩は雨が降りホタルが飛ぶかどうかとても心配していましたが、雨もあがりほっとしています。今日は幻想的な光をご覧いただけたと思います。ホタルの一生は短いものですが、みなさんは、ぜひ長生きをしてください」とあいさつ

されました。お祭りでは、フランクフルトやうどん、焼きそばや綿菓子など数多くのお店が出されたほか、餅まきが行われ、家族連れらが楽しそうに拾っていました。

あたりが暗くなり始めると、会場のほとりを流れる沼田川にホタルが飛び始め、まさしく蛍光色の鮮やかな光を放ち、あちこちで歓声があがっていました。

まちのわだい



▲一生懸命拾いました

6 / 1
(日)

美しくしたい

～第16回「530 (ゴミゼロ) 運動」～

強い日差しの中、それぞれの地元から大洲小学校までゴミを拾いながら歩く、530運動が実施されました。

主催した大洲の環境を良くする連絡協議会の三好康子会長は「この運動を始めて16年たちましたが、たくさんのゴミがまだまだ捨てられています。この運動がなくてもいいというまで根気強く進めたい」とあいさつされ、大森市長は「この運動に参加して、ゴミを拾いながら歩くことで、ポイ捨てなどをなくす気持ちを持ってほしい」とあいさつしました。

また、ゴミの分別を呼びかける寸劇などが披露され、参加者らはゴミの分別について楽しく学んでいました。

参加者には、連合婦人会と大洲ライオンズクラブが用意したうどんが振る舞われ、ゴミ削減のために持参したマイ箸をつかって、昼食を楽しんでいました。



▲消火器の取り扱い訓練をする長浜小の児童

6 / 1
(日)

地震 その時あなたは……

～長浜自治区自主防災フェスティバル～

防災意識を高めようと、長浜自治区自主防災組織がフェスティバルを開催しました。このフェスティバルは、午前8時30分に消防車による訓練の合図で、地区内の住民が自宅から長浜小学校に徒歩で避難を開始することでスタート。

長浜自治会の日高照友会長は、「訓練を繰り返すことで、いざという時に備えることができます」とあいさつされ、また自主防災組織の上田喜義会長は、「災害に適した場所に避難すること、日ごろからいつも通る道などに気をつけておくことが大切です」などとあいさつされました。

この日は、長浜小学校の児童129人も参加して、煙体験訓練や消火器の取り扱い訓練などのほか、地震体験車による大きな揺れの地震体験などが行われました。また体育館では、防災ビデオが上映され、参加者らは真剣な表情で見っていました。



▲一列にならんで植えていく参加者

6 / 21
(土)

秋の収穫が楽しみです

～田植え体験2008～

「田植え体験」が、東大洲で開催されました。このイベントは、食料や農業についての理解や関心を深めてもらおうと、大洲市青年農業者協議会(矢野洋一郎会長)と愛媛たいき農業協同組合が主催して開催したものです。

この日の参加者は松山市など市外からの参加もあり85人。同協議会の二宮強さんから植え方の指導を受けると、早速田んぼに一列に入り、「愛のゆめ」という品種の苗を植えていきました。しばらく植えると腰を痛そうに押さえるお父さんや、田んぼに座り

込む子どもなど、微笑ましい光景がひろがっていました。

秋には、参加者が植えた「愛のゆめ」が収穫され、精米してプレゼントされるそうです。



▲場内は熱気があふれていました

6 / 22
(日)

ナイス レシーフ!

～河辺公民館 分館対抗レクバレー大会～

河辺中学校体育館において、レクバレー大会が開催されました。

この大会は河辺公民館主催により、河辺地域の4分館(植松、坂本、大伍、北平)による男女別対抗で争い、大きな声援のなか、白熱した試合が繰り広げられました。参加者のみなさん、大会役員のみなさん、お疲れさまでした。大会の結果は次のとおりです。

男子Aブロック 優勝 植松分館Aチーム

男子Bブロック 優勝 植松分館Bチーム

女子ブロック 優勝 坂本分館Aチーム

最優秀選手の方は次のとおりです(敬称略)

上林 忍(植松)、露内真弓(坂本)、井脇翔平(大伍)

福宮ひかる(北平)



▲熱戦が繰りひろげられました

がら、必死でボールを追う選手はあつという間にどろんこに。観客からは選手の奮闘ぶりに笑い声や「ナイスプレー」の声援を送っていました。

6/22
(日)

どろんこでも笑顔

～どろんこミニバレー大会～

長浜柴地区で、第14回どろんこミニバレー大会が開催されました。白滝公民館柴分館長の岡花貢さんは、「今年もたくさんの人に参加してもらって嬉しい。この大会も年々にぎやかになってきた。大会を通して、地域の活性化や親睦を図りたい」とあいさつ。

当日は、開会式の直前まで降っていた雨もやみ、選手はまだ冷たさの残る水田で熱戦を繰り広げました。泥に足をとられな

鮮やかな色に染まりました

～段々畑にハナショウブ～

大洲市稲積（南久米地区）の棚田が、紫や白など鮮やかな色に染まりました。このショウブ畑は、亀井信子さんと夫の利雄さんが世話をされているもので、10年ほど前から信子さんの父親の岩田義長さんが育てていたショウブを6年前に亀井さんご夫婦が引き継ぎ、2年前から現在の場所で休耕田を利用して栽培されているものです。

亀井さんご夫婦は、人々の視線に合うように高い位置に花が咲くように工夫して世話をされていて、普通のハナショウブよりも背丈が高いのが特徴です。

信子さんは「いろいろな苦労があったけど、父へのプレゼントとして、このショウブを育ててきた。花好きな人に来てもらって、楽しんでくれれば嬉しい」と話されていました。

残念ながら、今年の見ごろは過ぎてしまいましたが、来年はぜひ、新緑の山々と棚田に囲まれたショウブ畑に、足を運んでみてください。



▲段々畑に見事に咲いたショウブ

心がなごみます

～金山出石寺のあじさい～

真言宗御室派別格本山として1300年の法灯を伝える金山出石寺では、参道約2kmにわたって3千株を超える約3万本のあじさいが赤・青・紫と咲き誇り、出石寺への参詣客や観光客を魅了しました。

金山出石寺は、標高800mの山間部に位置するため、あじさいの開花時期は平地より約半月から1ヶ月ほど遅く、毎年6月下旬～7月上旬にかけて見ごろとなります。



▲見ごろをむかえた時のようす

地域文化の活動支援

～地道な活動を続けられています～

株式会社伊予銀行（森田浩治頭取）による第33回地域文化活動助成制度の助成金贈呈式（八幡浜地区）が5月8日(木)、同行八幡浜支店で開催され、大洲市内からは、光友会が選定されました。

光友会は、写真を通してふるさとの自然の美しさと大切さを訴え、地域の生活に潤いを与えようと活動しているグループです。毎年1月には写真展を開催するとともに、「まちの駅あさもや」に写真を展示したり、絵はがきの素材として写真を提供したりと、地道な活動を続けられています。



▲目録を受け取る光友会の代表者（左）

高島市を訪ねる旅

高島市を訪ねる旅

参加者募集

中江藤樹先生の生誕の地『高島市』と、勉学の地『大洲市』は、平成11年から友好都市として市民同士や各種団体を通じての交流が続いています。

今回は高島市を訪ね、相互の友好と親善を深めるとともに、文化の香り高いまちづくりにつなげてまいります。

『水と緑 人のいきかう 高島市』

高島市は、滋賀県北西部に位置し、総面積は511km²で、人口約5万4千人、早くから湖西の交通の要衝として栄えてきました。

今回の旅では、藤樹先生生誕400年を記念して開催される「高島大洲書道100人展」を見学するほか、藤樹記念館など、藤樹先生ゆかりの名所をめぐる予定です。ぜひご参加ください。

日程 9月28日(日)～30日(火) 泊3日

定員 35人(大型バス1台)
定員になり次第締め切ります。

費用 1人 3万円
大洲市友好都市交流促進協議会がバスチャーター代などを助成いたします。

申込み先 (有)昭和旅行サービス
☎ 33228

電話でお申し込みください。申し込み手続の資料をお送りします。
締め切り 平成20年8月29日(金)

【問い合わせ先】

大洲市友好都市交流促進協議会
事務局(市役所企画調整課内)
☎ 2111 (内線523)

行程(案) ※行程(案)は、変更となる場合があります。

9/28(日)	大洲市：8時発—明石大橋—高島市(中江藤樹生誕400年記念 高島大洲書道100人展)—高島市内泊
9/29(月)	高島市(藤樹記念館ほか)—昼食交流会—大阪市(空中庭園展望台)—大阪市内泊
9/30(火)	大阪市(大阪城・水上バス中の島めぐり)—瀬戸大橋—大洲市：18時頃着



▲藤樹記念館

毎月勤労統計調査の おしらせ

「事業主のみなさまへ」

厚生労働省では、本年7月31日現在で常用労働者を1人から4人雇用している指定調査区内の事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、事業所における賃金、労働時間及び雇用の動向を明らかにする大切な調査です。

調査対象となる指定調査区内の事業所には、8月から九月にかけて統計調査員が訪問して調査票を作成させていただきます。

なお、調査票に記載された事項は「統計法」により厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることは禁じられています。

調査へのご理解とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】 市役所

電算課 情報統計係
☎ 2111 (内線375)



8月は

「電気使用安全 月間」です

夏季は、皮膚の露出部分が多くなり、発汗により皮膚がぬれて電気が通りやすくなります。また、疲労から注意力が散漫になりがちで、感電などの電気事故は、夏季(7～9月)に集中して発生しています。

そのため、8月を「電気使用安全月間」とさだめ、経済産業省主催のもと、電気使用安全の周知・啓発のため街頭キャンペーン、電気安全講習会の開催、電気設備の点検や不良設備の改修促進などの活動を行っています。

財団法人 四国電気保安協会
愛媛支部 大洲事業所
☎ 5012

